

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称	
事業名	902	まちづくり環境条例推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	27	秩序の中にもにぎわいのある都市空間を作る	款	08	土木費
			項	04	都市計画費
			目	01	都市計画総務費
担当部課名	伊賀産業建設課		細目	106	まちづくり環境条例推進事業
作成者氏名	高島幸生	連絡先	細々目	01	まちづくり環境条例推進事業
		45-9119			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
土地利用		地域環境に配慮した、土地の適正な開発及び利用を図っていくため、行政と地域が一体となり、地域にふさわしいまちづくりを進めていくことができる。			
本年事業内容	まちづくりは、良好な自然環境及び歴史的文化的環境を保護しつつ、生活環境及び社会環境の整備を図ることが重要です。度より住みやすい町を形成するため、全ての土地とくに農地及び森林地域が有する公共性に基づき、その適正な開発、利用及び保全を図りつつ、環境に配慮したまちづくりのための重要事項を調査及び審査します。 まちづくり環境条例第8条第1項に規定された事項において、届出を受付けた件数 14件(うち、建築関係9件、土地の区画形質の変更1件、土地の権利移動1件、開発協議3件ほか地下水採取に伴う事前協議1件)				
開始年度	平成 9 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀町まちづくり環境条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	71	79	80
委託料			
需用費	50	64	65
使用料及び賃借料	15	15	15
その他	6		
合計(A+B)	2,231	2,239	2,240
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,231	2,239	2,240
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
届出による事前協議件数	件	14	15	15			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
届出による事前協議件数	まちづくりに関わる土地の改変や建築物等について、様々な計画を住民に対してできる限りの情報公開に努めるため、指標としたい。	件	14 目標 (15)	15	15
まちづくり環境計画協定締結地区数	まちづくり条例による環境整備・保全に関してレベルアップを図るためには、必要な協定である。	地区	0 目標 (1)	1	1

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地域と行政が協働でまちづくりを進めていくため、まちづくり環境計画協定を締結し、環境に配慮した事業等を行っていたが、地域住民の80%もの同意がなければ協定を交わすことができないところから、協定を結んだ地区は2地区より増加していない。合併後は、まちづくりに影響を及ぼすと思われる、一定規模以上の土地に関する用途変更や改変を伴う事業及び建築物の新築・増改築等の事業行為について、計画段階での届出書の提出により、地域と行政が一体となって事前に監視を行っているのが実情です。また、伊賀市自治基本条例の制定以後、各地域に住民自治協議会が設置され活動を始めていることから、合併以前のような行政と地区との協定を結ぶ必要性がないように感じられる。

評価	必要性	4	伊賀支所管内だけではあるが、県の内外を問わず、何らかの事業を行う者を対象に行政と住民が一体となって取り組んでいる。今後も地域の特性を活かしたまちづくりを進めていく必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		